

歯科矯正学（歯科医療の展開）

4 年次 後学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：葛西 一貴（歯科矯正学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	<p>歯科矯正学とは、歯、顎ならびに顔の正常な成長発育を研究し、それら諸構造の不正な成長発育から引き起こされる不正咬合や上下顎骨の異常な咬合関係を改善し、口腔の正しい機能を営ましめ、同時に顔貌の改善をはかり個人の福祉に寄与し、さらに不正状態の発生を予防するための研究と技術とを含めた歯科医学の一分科である。実際に歯科矯正治療を行うにあたっては、不正咬合がもたらす口腔機能障害や心理的障害を除去し、咬合を正常またはそれに近い状態に治すことである。</p> <p>授業内容は、総論として、歯科矯正学の歴史と定義、矯正治療の目的、成長発育概論、頭部の成長発育、歯列と咬合の発育、口腔機能の発育、咬合についての概論、正常咬合、不正咬合、診断法、不正咬合の原因および予防などである。また、診断学として診断学概論、診査、形態的・機能的検査、診断。さらに矯正治療における抜歯問題などを学ぶ。治療学として治療学概論、矯正力、矯正治療に伴う生体反応、固定、矯正治療用材料と器械器具、矯正装置、不正咬合の治療および保定などがある。</p> <p>不正咬合の治療としては、乳歯咬合期、混合歯咬合期および永久歯咬合期における治療を基本とし、それに加えて唇顎口蓋裂などに伴う治療、他科との共同による治療（外科的矯正法）筋機能療法を学ぶ。</p> <p>矯正治療は一般歯科治療と比べると治療期間が2年から3年と比較的長い。顎骨の発育異常を伴う成長期の患者さんでは、顎の成長コントロールに更に期間を要することになり、矯正医の管理下に置かれる期間が長期にわたり、患者さんの負担も決して少なくない。矯正医はここで学んだ基礎知識と技術を駆使して患者さんの治療にあたっている。講義ではたくさんの矯正治療症例を紹介するので、矯正治療に対する興味を持って頂きたい。</p>
授業担当者	葛西一貴, 今村隆一, 山口 大, 五関たけみ, 榎本 豊, 齋藤勝彦, 高橋 治
教科書	歯科矯正学 第5版（医歯薬出版）
参考図書	混合歯列期の矯正歯科治療（医歯薬出版） プロフィットの現代歯科矯正学（作田守監訳、クインテッセンス出版）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	中間試験(50%)と定期試験(50%)によって評価点とする。中間試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。再試験の試験範囲は中間試験と定期試験の総合した範囲とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	近年不正咬合が増加しているといわれていますが、その原因と診断について楽しみながら学んでいただきたい。また、ダイナミックな歯の移動により得られたきれいな咬み合わせや顔貌の改善の様子などをみて、矯正学への興味を深めていただきたい。e-mailによる質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月27日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	【講義】第1回 ・ 歯科矯正学の歩みと定義 ・ 歯科矯正学の意義と目的 ・ 成長発育概論 ・ 頭蓋の発生および成長発育	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科矯正学の歴史について述べるができる。 ・ 歯科矯正学の定義について説明できる。 <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不正咬合による口腔機能障害を列挙できる。 ・ 矯正治療の目的を述べるができる。 ・ 成長発育と年齢（暦齢、生理的年齢）との関係を説明できる。 ・ Harris と Scammon の成長発育パターンについて述べるができる。 ・ 骨の成長様式を説明できる。 ・ 成長発育の評価法および臨床上的利用意義を説明できる。 ・ 脳頭蓋と脳頭蓋底の成長発育様式について述べるができる。 <p><D-2-4)- ,F-2-1)- ,F-2-3)- > <必-4-B, 必-6-AC, 総- -()-1-E, 総- -()-3-CEF></p>	葛西一貴
10月11日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	【講義】第3回 ・ 歯列と咬合の発育 ・ 口腔機能の発育 ・ 咬合概論 ・ 正常咬合 ・ 不正咬合1	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 咬合の定義および顎位と咬合について説明できる。 ・ 咬合と顎運動について、関連する筋の主な名称や作用および閉鎖経路について説明できる。 <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯列弓の大きさの変化や形態的機能的変化について述べるができる。 ・ 咀嚼、嚥下、発音などの口腔機能について説明できる。 ・ 正常咬合の種類および矯正治療目標について説明できる。 ・ 正常咬合が成立し、かつそれが保持されるための条件を述べるができる。 ・ 永久歯列期の正常咬合の概念について説明できる。 ・ 不正咬合の病因、実態およびその疫学的特長を列挙できる。 <p>F-2-1)- ,F-2-2)- ,F-2-3)- ,F-2-4)-(8)- ,F-4-1)- 必-4-B, 必-6-ABC, 総- -()-1-E, 総- -()-3-B3 ,B4,B5, 総- -()-3-AB, 総- -()-2-D, 各- -()-1-ABCD, 各- -()-6-B</p>	葛西一貴

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月18日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第5回 ・不正咬合の原因 ・不正咬合の予防	【準備学習項目】 ・不良習癖がもたらす咬合異常について説明できる。 ・乳歯列期における不正咬合の予防について説明できる。 【講義】 ・不正咬合の遺伝的原因および環境的原因を説明できる。 ・不正咬合の全身的原因および局所的原因と不正咬合との関連を述べるができる。 ・乳歯列期、混合歯列期および永久歯列期それぞれの時期における不正咬合の予防について説明できる。 C-3-2)- ,F-2-2)- ,F-4-1)- ,F-6-1)-(1)- , 総 - -()-2-D, 総 - -()-2-F, 総 - -()-2-C, 各 - -()-1-ABCD, 各 - -()-2-BC, 各 - -()-6-B	葛西一貴
10月25日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第7回 ・形態的検査2	【準備学習項目】 ・平行模型について説明できる。 ・顎態模型について説明できる。 ・セットアップモデルについて説明できる。 【講義】 ・口腔模型分析について説明できる。 ・頭部 X 線規格写真の特徴および重要性について説明できる。 ・頭部 X 線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。 <F-4-1)- > <各 - -()-5-F, 各 - -()-6-A2>	五関たけみ
11月1日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第9回 ・形態的検査4	【準備学習項目】 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。 【講義】 ・頭部 X 線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。 F-4-1)- 各 - -()-5-F, 各 - -()-6-A2	五関たけみ
11月8日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第11回 ・機能検査2 ・治療学概論	【準備学習項目】 ・予防矯正、抑制矯正、限局矯正、本格矯正について説明できる。 【講義】 ・顎運動の検査が矯正診断とどのようにかかわっているかについて述べるができる。 ・種々の機能検査法について説明できる。 ・矯正治療の開始時期と流れについて説明できる。 <F-4-1)- ,F-4-2)- > 各 - -()-5-H, 各 - -()-6-DE>	齋藤勝彦
11月15日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第12回 ・矯正力	【準備学習項目】 ・器械的矯正力について説明できる。 ・歯の移動様式について述べるができる。 【講義】 ・機能的矯正力について説明できる。 ・顎整形力について説明できる。 ・傾斜移動と歯体移動について説明できる。 F-4-1)- 各 - -()-10-A	山口大
11月22日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第14回 ・矯正歯科治療に伴う生体反応	【準備学習項目】 ・歯および歯周組織の構造を説明できる。 【講義】 ・歯の移動に伴う圧迫側と牽引側の組織変化の特徴を説明できる。 F-4-1)- 各 - -()-11-AB	山口大
11月29日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第16回 ・矯正歯科治療における固定2 ・矯正歯科治療における抜歯1	【準備学習項目】 ・固定の意義を説明できる。 ・抜歯の目的を説明できる。 【講義】 ・固定の種類 3) 抜歯症例における抜歯空隙利用のための固定の分類について説明できる。 ・矯正治療における固定の概念を説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の歴史について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の意義について説明できる。 F-4-1)- 各 - -()-8-A, 各 - -()-10-B>	山口大

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月6日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第17回 ・矯正歯科治療における抜歯2	【準備学習項目】 ・抜歯の目的を説明できる。 【講義】 ・矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。 <F-4-1)- > <各 -()-8-A>	山口大
12月13日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第19回 ・矯正用器械・器具2 ・矯正装置1 ・乳歯列期・混合歯列期の治療1	【準備学習項目】 ・混合歯列期に生じる不正咬合を列挙できる。 【講義】 ・矯正用器材を列挙し、その特徴について説明できる。 ・乳歯列期における治療について説明できる。 ・乳歯列期の治療についてその概略を述べる事ができる。 ・混合歯列期の正中離開、前歯部叢生に対する対処法を説明できる。 F-4-1)- ,F-4-2)- <各 -()-8-A,各 -()-13-A1,A2,GHLN	榎本豊
12月20日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第20回 ・矯正装置2 ・乳歯列期・混合歯列期の治療2	【準備学習項目】 ・機能的矯正装置の種類および作用効果について述べる事ができる。 【講義】 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べる事ができる。 1)唇舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 2)顎外固定装置としてのヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 3)床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 4) Slow expansion と Rapid expansion の作用効果について述べる事ができる。 <F-4-1)- ,F-4-2)- > <各 -()-6-ADE,各 -()-12-AB,各 -()-13-AGHLN>	榎本豊
1月10日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第22回 ・矯正装置3 ・永久歯列期の治療	【準備学習項目】 ・Edgewise 装置の概略について説明できる。 【講義】 ・マルチブラケット装置(Edgewise 装置)の発達の歴史、構成および特徴について説明できる。 ・Edgewise 装置のメカニズムについて説明できる。 ・Edgewise 法による治療の流れを説明できる。 ・アーチワイヤーの屈曲について説明できる。 ・Begg 法の特徴について説明できる。 ・各種不正咬合の治療を説明できる。 F-4-1)- 各 -()-12-B1,各 -()-14-AB	齋藤勝彦
1月17日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第24回 ・他科との共同による治療2	【準備学習項目】 ・顎顔面領域の成長発育を説明できる。 【講義】 ・顎変形症の原因、治療法について説明できる。 ・外科矯正治療の目的および適応症について述べる事ができる。 ・外科矯正治療の流れを他科との関連性を含め述べる事ができる。 ・成人矯正治療がかかえる諸問題を列挙できる。 ・口腔領域の奇形について述べる事ができる。 F-2-3)- ,F-2-4)- ,F-4-1)- 必-13-B,各 -()-1-AB,各 -()-2-ABCD,各 -()-4-A,各 -()-7-BC,各 -()-16-ABC	今村隆一
1月24日(火) 2時間 13:00～14:50	〔講義〕第26回 ・保定2 ・口腔筋機能療法	【準備学習項目】 ・矯正治療後の後戻りの要因を列挙できる。 【講義】 ・保定の定義、意義、および自然保定について説明できる。 ・口腔筋機能療法について説明できる。 F-3-3)-(2)- ,F-4-1)- 各 -()-12-AB,各 -()-13-Q,各 -()-15-ABCDE	今村隆一 高橋治